

令和7年度

関係人口創出・拡大のための対流促進事業
(中間支援組織の提案型モデル事業)

事業の実施結果
(概要)

団体名	公益財団法人東近江三方よし基金
事業名	地域を応援する「関係人口×共助資本」モデル構築事業

2. 取組の内容

(1)人と自然のつながり編の実施

概要

- 自然と共に生きることがWell-beingにつながることを体感する学び合いプログラムを開催した。
- 日程：2025年10月18日～20日

成果

- 参加者10人
- 実践団体の活動はもちろん、解説の専門家（分野の研究者）の解説があったことで、より深い理解につながった。
- 動画の制作により、次年度以降の情報発信に活用が可能に。

地域への波及効果

- 参加者（都市部住民等）からは、自然と人の共生の現場を知ることが出来たとの声があり、実践団体への支援につながった。
- 地域住民からは、長時間をかけての解説と活動に参加してもらうことで、共に学ぶ機会になった。

得られた気づきや知見

- 参加者と地域住民双方にとって意義のある事業とするためには、ツアー当日だけでなくその後の支援につながる仕組みがあることが良かった。



簡易魚道の設置工事の様子



ビワマス解説in湖香六根

(2)人と人のつながり編の実施

概要

- 社会的な困難や弱さを支え合う現場を訪れ、課題解決ではない人と人の関係性を再考する学び合いプログラムを開催した。
- 日程：2025年11月24日～26日

成果

- 参加者9人
- 協働の作業からワークショップ、専門家の解説を聞いてからのごちやまぜ食事会という一連の体験の中で、支援する側される側を超える経験を提供できた。

地域への波及効果

- 参加者（都市部住民等）からは、東近江の自然以外の価値について考えるきっかけとなったとの感想あり。
- 地域住民からは、じっくり時間をかけた体験と学びの企画が出来たことで、今後の受け入れについて考えるきっかけとなった。

得られた気づきや知見

- 参加者と地域住民双方にとって意義のある事業とするためには、ツアー企画の過程が最も重要であることが分かった。



コミュニティカフェトバスにてWS



薪プロジェクト現場

3. モデル事業の今後の展開について

(1)次年度以降の事業展開、自立自走・横展開に向けた取組の方向性

- 今年度事業の成果を踏まえ、次年度は、引き続き実践団体の寄付の募集を継続する。
- 今回は寄付の仕組みを構築したが、次年度以降は社会的投資ができる仕組みの構築に取り組む。
- 今回の参加企業から、インパクトファンドの創設について協力依頼があったことは最も大きな効果である。
- 今回のようなスタディツアーを投資家向けにも開催する方向で検討中。
- 次年度、上記の投資を実現するための別会社の設立を検討中。



(2)事業運営に向けた収支計画

- 企業研修については、1社あたり10～20万円程度の参加費設定を想定している。また、寄付・投資ページを通じた支援アクションは、これまでの視察受入実績からも3～4割の参加者による支援継続が見込まれており、1件あたり2～5万円程度の支援金を想定している。
- 支出面では、1回あたりの事業実施にかかる運営人件費・実施費（謝金、交通、会場費等）を30～40万円、広報・Web等の基盤維持に年間30～50万円程度と見積もっており、段階的に収入増と自走化の両立を図る持続モデルとして設定。

	費目	R8	R9	R10
支出	人件費・実施経費（企画運営、会場、交通等）	1,000千円	1,200千円	1,200千円
	広報・成果物制作・Web維持費用	500千円	300千円	300千円
収入	企業向け研修プログラム参加費	1,000千円	1,200千円	1,400千円
	寄付・投資連動型収入（再訪含む）	700千円	800千円	900千円

(3)モデルの拡大に向けた課題や留意点

- 各実践団体とスタディの要素を組み合わせるアレンジが重要である。今回、農業と仏教など異質なものが専門家の解説によってつながるという体験が生まれたことは偶然であったが、参加者には必然と受け取られた。今後の企画の中でもこれらを意識して組み込むことで、現場の事実理念や哲学が付与され、より深い共感につながっていく可能性が高い。
- 具体的な支援チャンネルのうち、個人から法人への展開をイメージした仕組みづくりが重要である。社会的投資が広がる中で、基金としてその仕組みを検討することは今後に向けてかなり重要であり、今回のような企業からの参加者にとって、深い共感が投資への可能性を開くことも想定される。
- 現役世代の都会の企業人であっても、地域での深い体験と共感は行動を変えるということが証明された。今後は積極的に長時間滞在を提案していきたい。